

100年以上の伝統で培われたマエストロの高度な技術をもとに、モダンにアレンジされたフォルムが特徴的なソファ。ファブリックをシート部分に使い、フレームはポルトーナ・フラウならではの上品なレザーとメタルを組み合わせてアクセントに。軽やかな印象も演出。ソファ「レットイットビー」W3200×D2400×H700・SH420mm ¥3,345,200 コーヒーテーブル「イラリー」φ1100×H350mm ¥553,420

「優れた家具は小さな建築のような存在であり、機能を備えたアートです」

—リカルド・トッサーニさん

guest : vol.05 Riccardo Tossani



Profile リカルド・トッサーニ
イタリア人の両親を持ち、オーストラリアで育つ。ハーバード大学デザイン大学院修了。LAのジョンソンフェインにてアソシエイツとして勤務。世界各国にて住宅、高層ビル、空港など、さまざまな建築デザイン、都市計画デザインの経験を持つ国際的建築家。1997年に来日しリカルド・トッサーニ アーキテクチャーを設立。

お問い合わせ ● IDC 大塚家具 東日本法人コンプライド営業部
☎03-6265-0334 <https://www.idc-otsuka.jp/>

建築家やインテリアのプロの創造を支える場

建築のキャラクターに共鳴したり 華やかさを与えるアイテムとのタッチポイント

guest : vol.05 リカルド・トッサーニさん 建築家

住宅建築や商業空間を手掛ける建築家やインテリアデザイナーにとって建築設計と同様に大切なのが、家具・照明・小物・アート・家電といった要素。この連載企画では、第一線で活躍する建築やインテリアの専門家が家具のショールームを訪れ、空間づくりのこだわりについて語ります。

撮影 / 名和真紀子

guest's FOCUS



上 表参道の交差点近くにあるポルトローナ・フラウのショールーム。2階のソファコーナー。レザーやファブリック、メタルを巧みに組み合わせたデザイン。下 最上級のレザーの魅力を最大限に生かしたデザイン。ポルトローナ・フラウ東京青山 東京都港区南青山5-2-13 ☎03-3400-4321 11:00~19:00 水曜(祝日は除く) <https://www.idc-otsuka.jp/poltrona-frau-tokyo-aoyama/shop/aoyama>

都市・建築・内装・家具・カトラリーに至るまで、包括的に環境をデザインする

東京と北海道のニセコという、国際的エリアに事務所を構える、建築家のリカルド・トッサーニさん。イタリア人の両親の元、オーストラリアで育ち、ハーバード大学で建築と都市計画デザインを学び、日本で事務所を設立して20年以上が経ちます。多文化を背景に持つリカルドさんに、設計するうえで重視していることを伺いました。

また、リカルドさんは建築と家具の関係について、ストーリー性を高めることを重視していると言います。「家具は小さな建築であり、機能的なアートです。重要なのは建築やインテリアとの共鳴。私たちが建築を通して紡ぐ物語の中に存在するものとして家具を選んでいきます。例えば優れたチェアがダイニングスペースに置かれることで、互いが共鳴し合い、空間に芸術性が生まれるのです」。

至るまで進化を止めません。イタリアのデザインは歴史的な装飾性を背景にしながら、ヒューマニスティックなアプローチを感じさせます。それは曲線の取り入れ方や天然素材の触感です。機能がフォルムを決めるのではなく、美しいフォルムが機能を高める。ポルトローナ・フラウは、このイタリアならではのデザインの特徴を強く反映しています。それでいて前衛的であることに躊躇しない。金属製のパーツを組み合わせること

guest's WORKS

規模の大きなラグジュアリーな個人邸も
サステナブルなアプローチが必須

リカルドさんは、建築家としてキャリアをスタートした当初から、建築やインテリア、オブジェクトのデザインにおいて、プラスチックへの依存を減らし、石油製品や化石燃料を使うのではなく、自然環境に負荷の少ない、よりサステナブルなアプローチを積極的に提案している。ここで紹介する2つの事例は国内外のプロジェクト。いずれもクライアントの理解と共感を得て、徹底したサステナブルデザインを目指している。



右 タイのサムイ島にあるリゾートヴィラ「Akatsuki」(<https://akatsukisamui.com>)。風力発電を採用、通気性の高さや日光を遮る底で空調をコントロール。撮影 / Martyn Goodacre 左 豪邸特集でも掲載した「R レジデンス」。太陽光発電、輻射熱を利用した冷暖房を導入した。撮影 / Forward Stroke Inc.